

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	電気・電子回路学演習		
英文授業科目名			
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	林 茂雄		
居室	東6-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hays (at) pc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：電気・電子の回路理論を受動素子から能動素子まで幅広く、演習問題を解きながら身につける。 (b) 達成目標：複素インピーダンスが分かること、オペアンプの機能が分かること、pn接合が分かること、バイポーラ型トランジスタの動作原理と簡単な回路特性が理解できること。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
複素数が分かっていると複素インピーダンスが理解できないので、苦手な人は事前に学習しておくこと。

【教科書等】
演習プリントを使用。また適宜参考プリントも配布する。

【授業内容とその進め方】
第1部（受動素子回路） キルヒホッフの法則、等価回路、複素インピーダンス、オペアンプ（ブラックボックスとして） 第2部（能動素子回路） ダイオード、バイポーラ型トランジスタ

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

[成績評価方法]

出席点が基本。ただし、単に出席していればよいのではなく、授業中に問題を解くか解答を提出することをもって出席点とする。

[評価基準]

プリントの問題が5割以上解けること。

【オフィスアワー：授業相談】

随時受け付ける。電子メールによる質問も可。

【学生へのメッセージ】

回路をひとつとおり学ぼうという欲張りな授業である。
アットホームな雰囲気のもとで対話型授業としていきたい。

【その他】

予めプリントを配るので予習をしておくこと。理解できなかった問題あるいは参考資料として配布するプリントを十分復習しておくこと。